はじめに

本文書に記す Linux のインストール手順は、初心者がまず Linux を使える環境を持つことを目的と した、最小限の設定を行うものです。また、部分的には、岐阜経済大学井戸研究室の所属学生に向けた 内容を含みます。

実際の作業全体は、次の手順で行います。

- (1) Windows のデータのバックアップ作成
- (2) Windows のディスクパーティションの変更
- (3) Linux のインストール
- 本文書は、(2)の Linux インストールの手順を示すものです。

<u>諸条件</u>

(1) ソフトウェア: ·Windows は、Windows98 (Me や XP でもほぼ同様です)

(2) ハードウェア

・PC は CD ドライブを内臓

・PCの起動時に、[F12]押下により起動ディスクの選択が可能

(そうでない場合、BIOSの設定により、起動ディスクの順序を変更する必要があります) また、本マニュアルは、富士通のノート PC (FMV-675NU9/L)を用いた場合を想定して、画面イメー ジを作成しています。さまざまな PC では、若干異なる点があるかと思いますが、基本的には同じ操作 となるはずです。

<u>基本的な流れ</u>

本マニュアルでは、次の2つの方法を想定しています。

- ・(方法) Windows の再インストールを行わない。
- ・(方法) Windows の再インストールを行う。



Windows のパーティション変更 ver.1.0(1/5)

FIPS はフリーソフトで、Linux のインストール CD に付属しています。うまく行くのであれば、上記の(方法)の方が望ましいわけですが、次の2つの問題があります。

・ Windows のデフラグでは、移動させられない使用領域がある場合がある。

・ FIPS は、初心者が手軽に間違いなく扱えるツールではない。

有償のソフトであれば、Windows のデフラグや FIPS よりも使い勝手が優れたツール(Partition Magic 等)があるのですが、全員が購入するまでも無いように考えています。以下では、ひとまず、(方法) の手順を記していきます。(方法)についてのマニュアルは、今後作成していくことにします。

<u>準備するもの</u>

Linux がインストールされる PC 以外に必要なものは、次のとおりです。

- (1) リカバリ CD PC 購入時に付属していたもの
- (2) 起動ディスク作成用の FD (フロッピーディスク) 各自準備してください

< 画面 1 >

<u>手順</u>

<u>1.リカバリ CD の起動</u>

- (1)本体 CD ドライブに Linux2.5 の CD を装着し ます。
- PC を再開起動させます。
- (3) 最初の画面が出たら、直ちに[F12]キーを押下し つづけます。
- (4) <画面1 > のような起動メニューが出力される ので、カーソルキー([]])を操作して、3
 の "ATAPI CD-ROM ドライブ"を選択し、[Enter]を押下します。
- 2.領域を設定してからのインストール
- (1) ここからは、PC によって差があると思います が、私のノート PC の例を示していきます。基本的にやることは同じなので、他の PC でも参考になると思います。
- (2) リカバリ CD を起動した後、PC によってさま
 ざまな画面が表示されると思います。FMV で

は、<画面2>のような画面が表示されます。カーソルキーで、"領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す"を選択し、[Enter]キーを押下します。他のPCでも似たような選択が可能であ

ると思います。すなわち、"領域を設定"してか ら、Windows をインストールすることを選択し ます。

- (3) 続いて現れる < 画面 3 > では、 < 画面 2 > と同 じようなことを聞いてきます。"領域を任意に設 定して戻す"を選択します。
- <u>3.ハードディスクの領域設定</u>
- (1) < 画面 4 > にて、領域の設定を行います。
- (2) 領域のサイズは、各 PC でまちまちですが、Linux を入れる領域になる D ドライブは、出来れ

<画面2>
ご購入時の状態に戻す(推奨)
領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す
<u>終了する。</u>
[]/[]キーを押して項目を選びます。実行す
る場合は、[Enter]キーを押します。



起動メニュー 1.*フロッピーディスクドライブ 2.*ハードディスクドライブ <u>3.ATAPI CD-ROM ドライブ</u> <BIOS セットアップを起動> ば3GB以上取っておいてください。

- (3) C ドライブは FAT32、区画は2つですから、領域の表示の下にあるチェック欄には、どちらに もチェックは入れません。
- (4) [Enter]押下で、インストールが動き出します。ちっと時間が掛かります。コーヒーブレイク。

<画面4>				
[][]キーで C ドライブの容量を指定してください。				
C ドライブは、1.0GB が最小サイズとなります。				
D ドライブは、0.1GB が最小サイズとなります。				
[D] <u>キーを押すと、現在のディスクの</u> 詞	<u> </u>			
C ドライブ 2.0GB	その他のドライブ 7.0 GB			
C ドライプ 4.5GB	その他のドライブ 4.5GB			
[] C ドライブを FAT16 で使用する。 [] 1つの区画として設定する				
「 」 ドライブの容量を指定してから[Enter]キーを押してください。				
ヘルプ: [F1] 増やす: [] 減らす: [] 実行: [Enter]				
メニューに戻る: [Esc] 詳細: FAT16/FAT32 切替[F] : 1区画 / 2区画: [P]				

<u> 4.fdisk 起動</u>

- (1) Windows の再インストールが終わ ったら、ディスクの状態を確かめ ましょう。
- (2) D ドライブは先程設定したサイズ になっており、空き領域になって います(<画面5>)。
- (3) ここで、D ドライブを削除することにします。
- (4) [スタート]-[ファイル名を指定して 実行]を選択し、"fdisk"と入力して、
 [OK]をクリックします(<画面6 >)。

<u>5.D ドライブの削除</u>

- (1) < 画面 7 > で、"大容量ディスクの サポートを可能としますか"の問 いに対して、"Y"とします。
- (2) <画面8>が"FDISKオプション"、 すなわち、メインメニューです。 まず、"4"を選んで、"領域情報を表

第7(1)だい。		
		< [j] * * 70/194
78620 371 12	4-4 4	×
9	35-(2-# FD 62) 100 Few 0) 🔯
マイコンヒュータ	(A)	
(D:) ローカル・ディスク	140-ル Web フォルダ ダイヤルアップ タスク パキル] 公 司 2 赤外線の受信
合計サイズ:437 0B		
🔲 使用钢板 :120 KB		
空き領域:437 GB	< 画面 5 >	
$\left \bigcirc\right $		
	空きディスク領域 ミリマイ エナビューラ	4
ファイル名を指定して		> ? ×
	にいうロジラム、ジネルタ、トキュメント、オイト・リソースの名前を入力してください。	21247/24-
名前(Q): [fdi	sk	-
		参照(<u>B</u>)

示 " させましょう。

- (3) <画面9>のように、現在の領域の様子が示されます。"状態"が"A"(アクティブ)になっている、 "C1"の領域が、C ドライブです。 もう一方の"2"の領域がDドラ イブです。
- (4) [Esc]キーを押下して、<画面8>のメインメニューに戻ります。
- (5)次に、<画面8>にて、"3"(領 域または論理MS-DOSドライプを 削除)を選択します。
- (6) <画面10>が表示されたら、"3"
 (拡張 MS-DOS 領域を削除内の論 理 MS-DOS ドライブを削除)を選 択します。
- (7) < 画面11 > にて、"どのドライブ を削除しますか"については"D"、
 "よろしいですか"については、"Y"
 を入力し、[Enter]を押下します。
- (8) < 画面12 > に削除が行われたことが表示されたら、[Esc]キーを押下して、< 画面8 > に戻ります。
- (9) <画面8>にて、"3"(領域または 論理MS-DOSドライブを削除)を、
 <画面10>にて、"2"(拡張 MS-DOS領域を削除)を選択してい きます。
- (10) < 画面13 > にて、"どの領域を削除しますか"については"2"、"よろしいですか"については、"Y"を入力し、[Enter]を押下します。
- (11)<画面14>の確認メッセージが 領事されたら、作業は終わりです。
- (12)[Esc]キーを2度押下して、fdisk
 を終了します。
- <u>6.ドライブの確認</u>
- (1) fdisk を終了すると、D ドライブは 無くなっています。
- (2) Windows の "マイコンピュータ"
 を見ると、<画面15>のように、

大容量ディスクのサポートを可能としますか(Y/N)...?[Y]

< 画面 7 >

<画面8>			
次のうちからどれか選んでください。			
5. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成			
6.アクティブな領域を設定			
7.領域または論理 MS-DOS ドライブを削除			
8.領域情報を表示			
どれか選んでください:[4]			
【			
ハードディスク 1			
┫域 状態 種類 ボリュームラベル M パイト システム 使用			
C:1 A PRI DOS 4487 FAT32 51%			
2: EXT DOS 4487 49%			
FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください			
<画面10>			
MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除			
次のうちからどれか選んでください。			
1.基本 MS-DOS 領域を削除			
2 . 拡張 MS-DOS 領域を削除			
3 . 拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを			
削除			
4 . 非 MS-DOS 領域を削除			
どれか選んでください:[3]			
<画面11>			
│ │ 拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを削除			
Drv ボリュームラベル M バイト システム 使用			
D: 4487 FAT32 49%			
 注意!削除した論理 MS‐DOS ドライブのデータはなくな			
ります。			
どのドライブを削除しますか?[D]			
よろしいですか?[Y]			

<画面12> 拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを削除 Dドライブを削除しました。 拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました。 FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください 前の D ドライブは無くなり、CD ドライブが、D ドライブになって います。

< 画面	<u>-</u> 13>	>				
拡張 MS-DOS 領域を削除						
現在の	ワハート	゙ディス	.ク1			
領域	状態	種類	ホ゛リュームラへ゛ル	M /ໂ ኅኑ	システム	使用
C:1	Α	PRI D	OS	4487 F	FAT32	51%
2:		EXT	DOS	4487		49 %
注意	!削除し	った拡張	MS - DOS	領域のデ・	ータはな	なくなりま
す。						
どの令	頁域を肖	除しま	すか?	[2]		
よろし	」いです	「か?…	•••••	[Y]		



<画面14>				
拡	張 MS-DOS 領	領域を削り	余	
現在のハードディス	マク1			
領域 状態 種類	ホ゛リュームラへ゛ル	M /ໂ ኅኑ	システム	使用
1 A Non-	Dos	518		5%
C2: A EXT	DOS	4487	FAT32	51%
拡張 MS-DOS 領域を削除しました。				
FDISK オプション	に戻るには Es	c キーを	押してく	ださい

少しだけ

本マニュアルでは、パーティションについての解説は行っていません。詳しく知りたい人は、次のサイ ト等を参考にしてください(今の時点では、あまり勉強するべき題材では無いかも知れません)。

<u>http://www.tkcity.net/~nobusan/boot_hdd.html</u> (Nobusan's Square)

しかしながら、fdisk にて D ドライブを削除した折に出てきた、基本領域・拡張領域・論理領域とについては、簡単に説明しておきます。

パーティションは、いくつでも切れるという訳ではなく、基本領域もしくは拡張領域として切れる数は、

Windows の場合、2つです(一般的には4つ)。2つよりも多 くの領域を切る場合、拡張領域(これは1つだけです)の中 に論理領域を複数設けることが出来ます。よって、C ドライ ブとD ドライブがある状態では、右の図のようなイメージで

基本領域	拡張領域
	論理領域

領域が切られています。上記のDドライブを消す手順の中で、まず論理領域を消し、その後に拡張領域 を消したのは、Dドライブが拡張領域内の論理領域に割り当てられているためです。中身(=論理領域) を消してから、空になった枠(=拡張領域)を消すわけで、この場合、中身ごと枠を消すことは出来ま せん。

<u>おわりに</u>

今後、このマニュアルを改良していく予定でいます。お気づきの点があれば、教えて頂けると助かり ます。

- 以上 -